

舌側歯槽堤粘膜から残存歯舌面までを覆う

リンガルプレート

リンガルバーが使えないとき適応

リンガルバーよりも維持・支持・舌感が優れる

辺縁歯肉を覆っているため、衛生的には悪い



歯肉の炎症や齶蝕を起こしやすい



前歯の基底結節を走行

ケネディーバー

リンガルバーと併用する

強度不足のため

ケネディーバーは幅が狭く細い

特徴

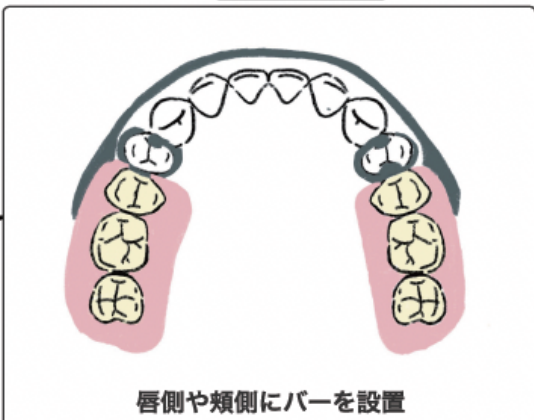
残存歯の固定ができる

間接的な維持効果がある

辺縁歯肉への為害性は少ない

舌感が悪い

舌側の歯頸部が開放されるから



唇側や頬側にバーを設置

外側バー

食べ物がたまりやすく不衛生

通常の大連結子が使えない人に適応

残存歯の舌側傾斜が著しい

舌側の歯槽堤に大きなアンダーカット

大きすぎる下顎隆起